

信越本線（協野田駅）移設事業について

信越本線移設事業は、平成15年度に「北陸新幹線上越（仮称）駅付近の周辺整備に関する覚書」及び「北陸新幹線上越（仮称）駅付近周辺整備の実施に関する基本協定書」を締結し、関係者が各自の役割に基づき業務を進めてきました。

その後、上越市の鉄道事業許可の取得が困難であることが判明したほか、北陸新幹線上越（仮称）駅周辺整備地区内に釜蓋遺跡が発見され、立体交差から平面交差に計画変更が生じた結果、移設を完了させてアクセス道路を計画通り整備しないと、交差点付近での渋滞や事故の発生が懸念されることから、移設の早期完了の必要性が高まりました。

さらに、並行在来線会社を早期に立ち上げたとしても鉄道事業許可及び工事施工認可を得るには、隣接県などとの様々な協議・調整が必要となり、相当の期間が見込まれることから、開業に間に合わないのではないかと懸念しております。

そのため、平成26年度末の北陸新幹線金沢開業までに信越本線を実際に移設する現実的な方法としては、貴社による自社線の施設変更として実施していただく方法が最も望ましいと考えております。

ついては、新幹線の駅に隣接する在来線の新駅の設置を希望するので、貴社による移設工事を検討していただきたく、要望申し上げます。

平成22年4月28日

新潟県知事 泉田 裕彦

上越市長 村山 秀幸

全体平面図

